

(様式第1号)

エネルギー供給温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	SBパワー株式会社				
代表者名	氏名	中野 明彦	役職名	代表取締役社長 兼 CEO	
主たる事務所の所在地	〒105-7529 東京都港区海岸一丁目7番1号				
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則第15条第2項に該当する小売電気事業者			
	<input type="checkbox"/>	その他の事業者			
主たる事業の概要	北陸エリアを除く全国で電力小売事業を展開しています。 ■コンシューマー事業 ・おうちでんき、くらしでんき：一般のご家庭向けのプラン ・自然でんき：FIT電気比率の高いプラン ■法人事業 ・ソフトバンクでんきfor Biz：小規模店舗・オフィス向けの低圧電力プラン ■新電力支援事業 ・電源供給や需給管理、カスタマーサポートなどの新電力事業を支援するアウトソーシングサービスを提供				
電力供給量(総量)	2,666,284	千kWh	電力供給量(長野県)	35,813	千kWh

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	2020	年度	～	2022	年度	報告対象年度		年度
------	------	----	---	------	----	--------	--	----

3 公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧 (閲覧場所・時間等)	〒105-7529 東京都港区海岸一丁目7番1号
<input type="checkbox"/>	その他	

4 エネルギーの供給に係る地球温暖化対策のための基本方針

ソフトバンクは、持続可能な社会の実現に向けた地球温暖化対策としてCO2抑制に向けた再生可能エネルギーの活用やICTによる省エネルギー促進を行います。

自社の取組として、基地局に再生可能エネルギーを活用した電力の使用、オフィスや通信設備での温室効果ガス排出量の削減、最先端の環境技術を取り入れたデータセンターの構築、地球温暖化防止に向けた社内啓発等の取り組みに努めます。

また、関係会社であるSBエナジーでは太陽光発電や風力発電等の再生可能エネルギー開発・運営を、エンコアードジャパンでは提供する宅内IoT機器「エネトーク」を通じて、毎日の電気使用量や節電アドバイスをアプリで確認することで節電の効率があがるサービスを提供しており、今後もグループとして環境に優しい社会を実現する再生可能エネルギー事業や省エネサービスの普及・拡大に取り組みます。

5 エネルギー供給温暖化対策計画の推進に係る体制

ソフトバンクでは、SDGs実現を推進するために、SDGs推進委員会を設置しており、グループの全従業員がSDGsに一丸となって取り組む体制を維持しております。

電力事業に関しては、エナジー事業推進本部において、需要家への販売計画や需給ポジションを作成し、再生可能エネルギー(FIT電気)を中心にFIT電気以外の再生可能エネルギーも組み合わせた最適な電源構成となるよう努めるとともに、再生可能エネルギーやICTを活用する省エネサービスの企画・推進を行い環境負荷低減に貢献する事業を推進する体制を構築しております。

(様式第1号)

6 供給するエネルギーの製造等に伴い排出される二酸化炭素の抑制に関する目標等

基準年度	基礎排出係数	0.000513	t-CO2/kWh
2019年度	調整後排出係数	0.000528	t-CO2/kWh
目標年度	目標排出係数	2019年度水準	t-CO2/kWh
2022年度	目標削減率	-	%
目標設定に関する説明	環境に配慮したプラン「自然でんき」の提供継続と、非FIT電源の調達や非化石証書の購入を行います。 また、ソフトバンク株式会社の携帯電話基地局へ非化石証書を用いた再エネ電気の提供を行います。		
第一年度	基礎排出係数		t-CO2/kWh
	調整後排出係数		t-CO2/kWh
年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量		千t-CO2
排出係数等の増減理由			
第二年度	基礎排出係数		t-CO2/kWh
	調整後排出係数		t-CO2/kWh
年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量		千t-CO2
排出係数等の増減理由			
第三年度	基礎排出係数		t-CO2/kWh
	調整後排出係数		t-CO2/kWh
年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量		千t-CO2
排出係数等の増減理由			

(様式第1号)

7 上記6の目標を達成するための措置

環境に配慮したプラン「自然でんき」の提供継続と、非FIT電源の調達や非化石証書の購入を行います。
また、ソフトバンク株式会社の携帯電話基地局へ非化石証書を用いた再エネ電気の提供を行います。

8 調達する電気の電源構成に関する見通しと実績

区分		調達する電気の電源構成の割合 (W・h比)								
基準年度	石炭火力	0	%	原子力	0	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	0	%	
	LNG火力	0	%	水力	0	%	卸電力取引所 ^{※3}	30	%	
2019	年度	石油火力	0	%	FIT電気 ^{※2}	5	%	その他 (他社から卸売を受け、 発電所の特定ができない電気)	65	%
最終年度 における 見通し ^{※1}	石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)		%	
	LNG火力		%	水力		%	卸電力取引所 ^{※3}		%	
	年度	石油火力		%	FIT電気 ^{※2}		%	その他 ()		%
第一年度	石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)		%	
	LNG火力		%	水力		%	卸電力取引所 ^{※3}		%	
	年度	石油火力		%	FIT電気 ^{※2}		%	その他 ()		%
第二年度	石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)		%	
	LNG火力		%	水力		%	卸電力取引所 ^{※3}		%	
	年度	石油火力		%	FIT電気 ^{※2}		%	その他 ()		%
第三年度	石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)		%	
	LNG火力		%	水力		%	卸電力取引所 ^{※3}		%	
	年度	石油火力		%	FIT電気 ^{※2}		%	その他 ()		%
備考	見通しにつきましては今後の電源確保に影響するため、非公表とさせていただきます。									

※1 「最終年度における見通し」欄には、基準年度時点における事業者の電気の調達計画等の見通しに基づき、特定期間の最終年度を算定期間とする電源構成の概算の見込み割合を記載する。

※2 「FIT電気」とは、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく認定施設から買い取られた電気と、その調達費用の一部が全電気利用者が負担する賦課金により賄われている電気を指す。

※3 「卸電力取引所」とは、電力の卸取引を行う取引所であって、電気事業法第97条第1項に規定される指定を受けた卸電力取引所を指す。

9の1 再生可能エネルギー源により発電された電気の調達量に関する見通しと実績

区分	調達量				再生可能エネルギー源の種類 (内訳)			
					電源	種類別調達量		
	県内分		再生可能エネルギー 電気(FIT電気を除く)	FIT電気				
基準年度	98,778	千kWh	0	千kWh	太陽光	0	56,859	千kWh
					風力	0	0	千kWh
					水力	0	0	千kWh
					バイオマス	0	23,339	千kWh
					その他	0	18,580	千kWh
2019年度								
最終年度 における 見通し		千kWh		千kWh	太陽光			千kWh
					風力			千kWh
					水力		千kWh	千kWh
					バイオマス		千kWh	千kWh
					その他		千kWh	千kWh
年度								
第一年度		千kWh		千kWh	太陽光		千kWh	千kWh
					風力		千kWh	千kWh
					水力		千kWh	千kWh
					バイオマス		千kWh	千kWh
					その他 ()		千kWh	千kWh
年度								
第二年度		千kWh		千kWh	太陽光		千kWh	千kWh
					風力		千kWh	千kWh
					水力		千kWh	千kWh
					バイオマス		千kWh	千kWh
					その他 ()		千kWh	千kWh
年度								
第三年度		千kWh		千kWh	太陽光		千kWh	千kWh
					風力		千kWh	千kWh
					水力		千kWh	千kWh
					バイオマス		千kWh	千kWh
					その他 ()		千kWh	千kWh
年度								
備考	見通しにつきましては今後の電源確保に影響するため、非公表とさせていただきます。							

(様式第1号)

9の2 再生可能エネルギーの普及・供給拡大に関する取組

電力小売において、再生可能エネルギーの割合が高いプラン(プラン名：自然でんき)をお客さまに提供することで、再生可能エネルギーの供給量を増やすことを目指します。また、非FIT電源や非化石証書の調達により再エネ電源の普及・拡大と二酸化炭素排出量の削減にも努めます。

10 エネルギーの供給に係る温室効果ガス排出抑制の研究と取組

- ・自然でんきプラン1契約につき、毎月50円の活動支援金をSBパワーが拠出し、森林保全活動を支援し、環境保全に貢献します
- ・非FIT電源や非化石証書の調達を行います

11 需要家の省エネルギー対策の推進に関する取組

区分	実施内容
高効率機器の普及促進	
家庭・事業者の省エネルギー対策への協力	スマホアプリを通じた節電要請を行う家庭向け行動誘発型DRの実証実験 参考プレスリリース https://www.sbpower.co.jp/news/pdf/20200618_01.pdf https://www.sbpower.co.jp/news/pdf/20201027_01.pdf https://www.sbpower.co.jp/news/pdf/20201217_01.pdf 参考資源エネルギー庁資料(3~5ページ) https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/jisedai_smart_meter/shiyo_kento_wg/pdf/002_01_03.pdf
その他	森林保全への寄付を行い、環境省が推進する地球温暖化対策のための活動「COOL CHOICE」へも参画している「自然でんき」プランの提供

※ 需要家に対して節電や省エネを誘導する料金体系を導入している場合は、「その他」に記載する。

(様式第1号)

12の1 地域との連携に関する取組の実施状況

基準年度までに実施した内容	
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	

12の2 その他、温暖化対策に関する取組の実施状況

区分	実施内容
基準年度までに実施した対策	
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	

(様式第1号)

1.3 自由記載欄

